

「55年前、未来があった——」 ウルトラセブン 55周年、プロジェクト始動



『シン・ウルトラマン』から遡ること55年前、
数多くの異星人と戦いながらも、その「狭間」に立ち、
地球と人類を愛した不滅のヒーローがいた…
その名は「ウルトラセブン」

株式会社 円谷プロダクション(本社：東京都渋谷区、代表取締役会長：塚越 隆行、以下「円谷プロ」)は、『ウルトラセブン』の55周年を記念するプロジェクトのスタートについて発表致します。

ウルトラセブン 55周年プロジェクトのスタートに当たり、ロゴやビジュアルを公開した他、公式 Web サイトを開設しました。55周年となる2022年、かつて『ウルトラセブン』第1話が放送された10月を皮切りに、7つのキーワードでウルトラセブンの魅力をお届けします。本プロジェクトの今後の展開にどうぞご期待ください。

つきましては、本情報のご紹介をご検討のほど何卒宜しくお願い申し上げます。

『ウルトラセブン』とは

1967年、『ウルトラマン』に続き放送されたのが『ウルトラセブン』です。

特撮テレビシリーズの草創期、『ウルトラ Q』『ウルトラマン』を経た若いスタッフが成熟した才能を発揮し、数多くの傑作エピソードを生み出しました。

軍拡競争で母星を滅ぼされた怪獣や、地球人同士の信頼を揺るがす侵略者、地球侵略の捨て石にされた異星人、人間より先に地球で暮らしていたのかもしれない生命体……。数々のエピソードは、今もなお多くの人々の支持を集めています。

全話を通じて描かれたのは、数多くの異星人と戦った彼も、同じくまた異星人であったということです。ウルトラマンと同じく、地球を、そして人間を愛した存在なのです。

世界が混迷を極める今だからこそ、『シン・ウルトラマン』に続き、彼の背中を観て頂きたいと考えています。「ウルトラマン」と並び称される、不滅のヒーロー、その名は「ウルトラセブン」。

『ウルトラセブン』55周年 7つのキーワード

記念商品、ライブイベント、上映や配信など様々な展開を7つのキーワードに沿ってお送りします。各展開は今後公開予定です。ご期待ください。

- ①ウルトラセブンを「知る」
- ②ウルトラセブンを「観る」
- ③ウルトラセブンを「持つ」
- ④ウルトラセブンを「深める」
- ⑤現代のアートを通じてウルトラセブンを「考える」
- ⑥ウルトラセブンの制作現場や物語に「触れる」
- ⑦現代の技術でウルトラセブンに「向かい合う」

ウルトラセブン 55周年公式 Web サイト <https://seven55th.m-78.jp/>

画像コピーライト ©円谷プロ

【報道関係者様お問い合わせ先】

株式会社 円谷プロダクション パブリックリレーション部

<https://www.tsuburaya-prod.co.jp/contact-us/>